

にぎわい Xing

事業報告書[2011.07.24. → 2013.12.30.]



にぎわい Xing
クロッシング

2014年3月

にぎわい Xing 管理運営事務局

大川（旧淀川）沿いの八軒家浜に 2009 年 7 月に完成した「川の駅 はちけんや」の地下 1 階フロアにおいて、大阪府が募集した水辺の賑わい創出事業者について、にぎわい Xing（NPO 大阪水上安全協会、大阪水上バス株式会社等による JV）が大阪府と中之島水辺協議会に承認され、2011 年 7 月に「にぎわい Xing」がオープンしました。

「にぎわい Xing」は川の駅「はちけんや」に、あつまり、ひろがる「空間・時間・機能」をコンセプトに、八軒家浜の歴史・モノ・ヒト・コトを集積し、周辺地域に拡散することで、新たなにぎわい感を創出・発信することを目的とした賑わい活性化事業です。

事業展開として、365 日（全日）稼働のキーベースとなる売店集客施設「Xing Garden」、常設展示やフォーラム開催などの「情報発信ゾーン」、月に一度、第 1 日曜日には、鮮魚販売やまぐろの解体ショーをテーマとした「天下の台所・八軒家浜市」を展開してきました。

2013 年 3 月に 2 期を終えましたが、約 2 年の事業展開の実証を元に、2011 年に提案しました内容検証を行い、課題点の抽出と実証に基づく可能性の検索を行う事で、「にぎわい Xing」2 期の報告といたします。



提案コンセプトの再確認

＜川・まち・ひと＞の様々な可能性が、あつまり、ひろがることで真の賑わい創出拠点へと深化する「川の駅 はちけんや」

「クロスする」新たな可能性

にぎわい Xing
クロッシング

「にぎわい Xing」事業コンセプトの再確認

2009年8月、

日本初めての本格的な常設の「川の駅」として大阪・八軒家浜に誕生した「川の駅 はちけんや」

“川と生きる都市”を標榜する大阪において、「川の駅 はちけんや」の重要性は今後さらに高まるものと考えられる。

その重要性・目的・使命とは「街と川とが出合い、社会と地域に開かれた人・モノ・情報の交流拠点」である。

「川の駅 はちけんや」にあつまり、ひろがる「空間・時間・機能」軸

過去

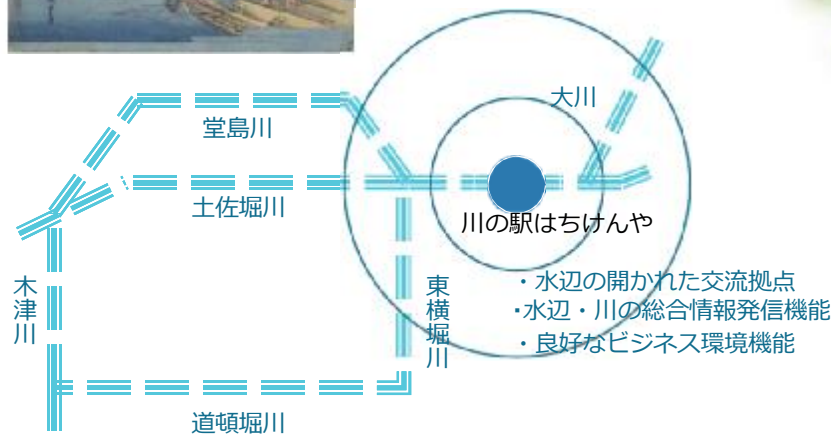


現在

受け継がれる
水都大阪の「にぎわいDNA」

未来

琵琶湖淀川水系流域連携



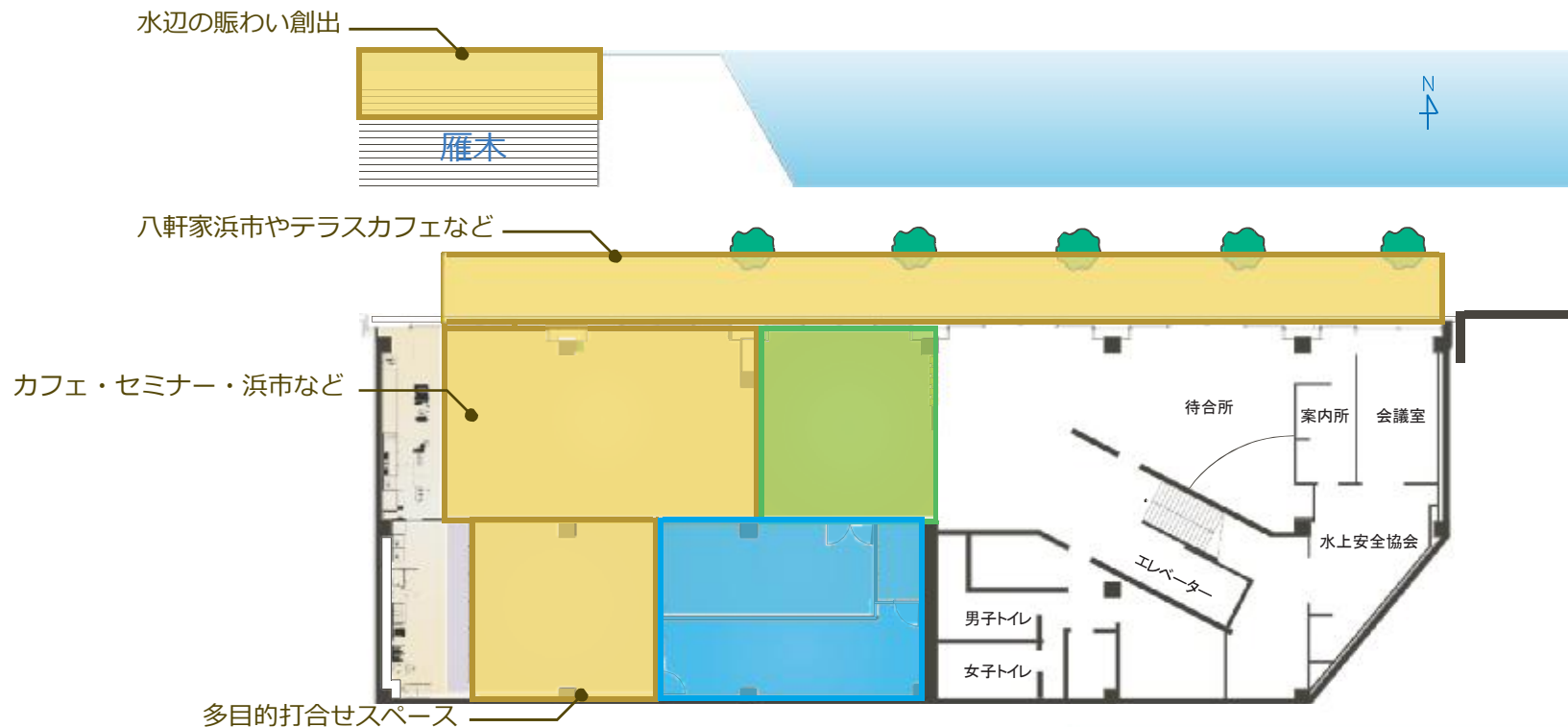
- ・全国河川ネットワーク
- ・観光舟運ネットワーク
- ・水フォーラム

〈川・まち・ひと〉の様々な可能性が、あつまり、ひろがることで真の賑わい創造拠点へと深化する「川の駅・はちけんや」

「クロスする」新たな可能性、それが

にぎわい Xing

役割 / 可動式セグメントで、様々なニーズに対応できる拡張性の高い運営
施設周辺（テラス・雁木・庇）でも事業展開し「水辺の賑わい」感を創出



- **[集客交流機能]** 催事に合わせた可変動稼働運営
- **[情報発信機能]** 常設展示・フォーラム開催など
- **[運営管理機能]** 施設稼働を可能にする民間事業

シーズンオンでのテラス活用



Xing Garden_ [提案時の展開イメージ] と [実績] の比較

■ 提案コンセプト

- 当該施設の「にぎわい感」創出に欠かすことのできない「365日全日オープン」のためのベースエリア
- シーズンオンの「八軒家浜」最大活用
- 可変動式な「多目的エリア」展開 フレキシブルなスケジューリングによる賑わい活性事業を展開

■ 基本展開は「CAFE」機能

- 営業時間 : 11:00 ~ 22:00 (L.O.21:30)
- 定休日 : 年末年始のみ
- 座席数 : 着席約 50名 / 立食 100名ほど
- 営業形態 : 施設内・庇部・テラスともに公共性を担保したパブリックスペースとして営業
- 運営 : (株)リタウン

■ 実績と課題

■ 「全日稼働」による恒常的な賑わい形成

※XingGarden の通常営業による「川を身近に感じる憩い空間」形成

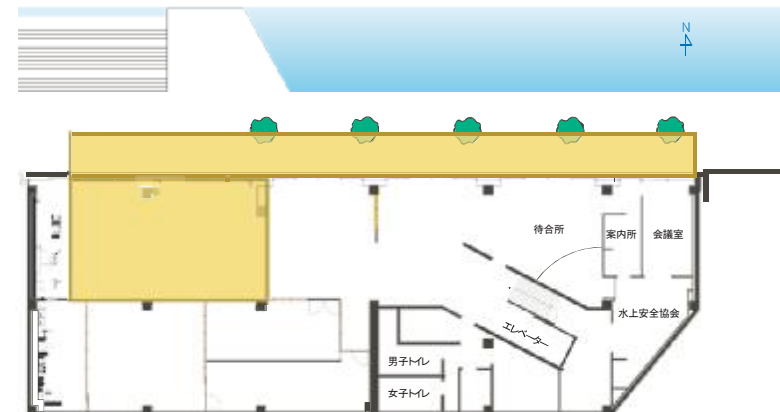
■ 「多目的な活用」による水辺の賑わい・情報発信の形成

※CAFE 機能に終始しない、催事に合わせた可変動型稼働畝委(セミナー、フォーラム・ワークショップ等)の実施は、幅広い層の集客に寄与している。

■ テラス利用が消化不良

シーズンオンでのテラス活用は「川の駅 はちけんや」夏のハイロケーションを PR する絶好の空間であると同時に「にぎわい Xing」運営の経済的合理性をより強固にするコンテンツである。2014年度以降は、周辺競合店の理解・地域住民の賛同を得ながら「テラス活用」の最大化をテーマに具体的に取組んでいきたい。

▽展開エリア



▽展開エリア (テラス)



▽提案時のイメージパース



2011年(7月~12月)

それいけ! OSAKA! たんけん隊口ケ (08.29.)
北大江たそがれコンサート会場 (10.20.)
日本夜景サミット 2011 (10.24.)
全国水都フォーラム@大阪 (11.11.)
はちけんや一日写真教室 (11.23.)
おおさかカンヴァス推進事業オープニングパーティ (11.23.)
アート&クルーズバル (12.08 ~ 11.)
水都大阪かわまちフォーラム (12.17.)
山本能楽堂ワークショップ (12.24.)
山本能楽堂ワークショップ (12.31.)
山本能楽堂ワークショップ (01.01.)

2012年(1月~12月)

淀川百周年記念「大橋房太郎展」贈呈式特別講演 (02.04.)
バレンタインチョコレート教室 (02.12.)
山本能楽堂ワークショップ (03.03.)
水上安全講習会 (03.08.)
山本能楽堂ワークショップ (03.11.)
山本能楽堂ワークショップ (03.17.)
山本能楽堂公演 (03.20.)
山本能楽堂ワークショップ (06.02.)
大阪城サマーフェスティバル記者会見 (06.20.)
大阪川の日写真コンクール (07.05.)
山本能楽堂ワークショップ (07.07.)
八軒家浜プロジェクト (07.13.)
天神祭宵宮ウオーク (07.24.)
天神祭船渡御観覧 (07.25.)
琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会 (07.28.)
山本能楽堂ワークショップ (08.04.)
ゲリラ豪雨展ワークショップ (08.27.)
山本能楽堂ワークショップ (09.01.)
水都大阪フェスワークショップ (09.30.)
山本能楽堂ワークショップ (10.06.)
水辺バル (10.13.14.)
水都大阪フェス 2012 フォーラム (10.21.)
山本能楽堂ワークショップ (11.03.)
絵画展 (11.12. ~ 16.)
水都大阪サポーターワークショップ (11.16.)
土木フォーラム (11.30.)
山本能楽堂ワークショップ (12.01.)

2013年(1月~12月)

フォークダンス教室 (01.07.)
フォークダンス体験会 (02.04.)
フォークダンス教室 (03.06.)
水都大阪サポーターワークショップ (03.11.)
アイルランドフェスティバル in Osaka 2013 (03.17.)
水都大阪サポーターワークショップ (03.23.)
ウオーキング協会講演会 (03.24.)
お花のワークショップ (03.30.)
野菜の学校 (03.31.)
フォークダンス教室 (04.01.)
NHK ナイトクルーズフォーラム (05.16.)
フォークダンス教室 (05.16.)
テラス席 ビアガーデンプラン開始 (07.01.)
平成 OSAKA 天の川伝説 天満橋★バル (07.06 07.)
天神祭船渡御観覧 (07.25.)
水辺文化会談 (08.09.)
ああ 夏休み展 (09.07.)
パドルポート リーダー講習会 (09.15.)
Hi ship! project! (10.10.)
絵手紙展 (10.23.)
パドルポート取材「にじいろジーン」 (11.06)
水上さんぽ大会 (11.10.)
雨といきもの展 (11.27.)

* その他、パブリックビューイング、
ミュージックライブ等が 定期 (不定期) 開催



ウォーキングステーション _[提案時の展開イメージ] と [実績] の比較

■ 提案コンセプト

■「にぎわい Xing」を ZERO 起点に様々な魅カスポットへのアクセス情報を提供

■ 基本展開

- 営業時間 : 10:00 ~ 17:00
- 定休日 : 土日祝
- 概要 : ウォーカーのための情報発信施設。
気軽にウォーキングを楽しんで頂くために、各地の名所旧跡、みどころある場所を選んだウォーキングコースを設定。
八軒家浜ウォーキングステーションでは、以下 4 コースを推奨。

- 城跡・天満天神橋コース 10km
- 大川・天神橋筋コース 18km
- 歴史の宝庫上町台地・名水巡りコース 16km
- 水都大阪・中之島散策コース 18km

- 運営 : (社) 日本ウォーキング協会 大阪事務所

■ 実績と課題

■ 安定的な動員確保とイベントミックスによる拡張性の高いコンテンツ

爆発的な動員数はないものの、ファン数は定着しており、季節・天候にあまり左右されることがなく一定の来場アベレージを毎月保っている。また他イベントとのコラボレーション企画が盛況。[食とウォーク][ショッピングとウォーク][催事とウォーク]と、主催者からすると、どのような種類のイベントでも協働しやすい、参加者からすると分かりやすい参加しやすい「ウォーキング」の強みがある。

■ 組織変更による動員数の増加期待

▶ウォーキングステーションの母体である「社団法人日本ウォーキング協会 大阪事務所」は 2013 年 6 月 25 日をもって閉鎖となるが、同年 7 月 15 日に、ウォーキングステーションの機能をそのまま引き継ぎ「社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟」が新たに、にぎわい Xing 運営連絡会の正メンバーとして加入。課題であった「ファン数の拡大」と「参加年代の分布化」が期待できる。

■ウォーキングに終始しない「魅カスポットへのアクセス情報提供」が必要

■ウォーカーの「ZERO 起点」となる道標（マイルストーン）が必要

▽展開エリア



△ 八軒家浜市とのイベントミックス



△ 天神祭とのイベントミックス

■ 組織変更による
来場者推移予測

ウォーキングファン
八軒家浜を舞台とした
ウォーキングイベント

△ 2011.07.24. ~

ノルディックファン

八軒家浜を舞台とした
ノルディックイベント

施設・機能・
スタッフ（一部）
はそのまま移行

△ 2013.07.15. ~

八軒家浜市 _[提案時の展開イメージ] と [実績] の比較

■ 提案コンセプト

ヒト・モノ・コトの集積地であった「八軒家浜、水辺の喧騒」を再現するため、水辺の「交流・にぎわい」をテーマにした「浜市」を展開する

天下の台所・八軒家浜市

■ 基本展開

- 実施日 : 毎月第一日曜日
- 展開時間 : 10:00 ~ 17:00 (売切次第終了)
- 展開概要 : 生本まぐろ解体ショー (集客性・話題性の喚起)
街のみなと鮮魚市 (雑魚場魚市場の再現) 限定・
激安市 (集客性) 銘品販売 (季節毎の商品提供)
- 運営 : 大起水産(株)

■ 実績と課題

■ 「イベントミックス」による複合的な賑わい形成

- ▶ ウォーキングステーション「リーダーと歩こう」や大阪水上バス「浜市クルーズ船」などのイベントミックス、そして XingGarden とのビジネスミックス (展開中のドリンク販売等) など「にぎわい Xing」各組織が連携した事業展開を形成

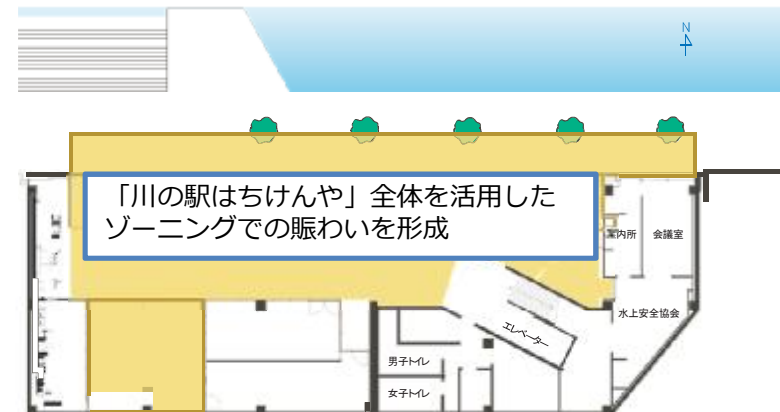
■ 大起水産独自 PR による集客形成

- ▶ 郵便事業ポスティングやラジオ・TVCM (月平均 / ラジオ大阪 20 秒 × 30 本・テレビ大阪 CM2 本) による広報宣伝

「安定化」の打開

「毎月第一日曜日」定期開催による平均的な来場者を確保しているが天候によるバラツキやお昼以降の急激な来場者減少と、来場促進のため課題を解決し更なる賑わい形成が必要。具体的には、更なるイベントミックスが求められる。(にぎわい Xing 以外とのイベントミックスが重要)

▽ 展開エリア



情報発信ゾーン [提案時の展開イメージ] と [実績] の比較

■ 提案コンセプト

淀川関連の「知」の情報発信拠点、さらには河川の「知」のサロンとしての育成・定着化を図る。

■ 基本展開

- 展 開 : 365 日常設展示
- 展開時間 : 10:00~17:00
- 展開概要 : 月毎にテーマを変えた常設展示

■ 課題

■ **画一的な展示（情報発信）テーマの改善** 毎月毎の展示テーマにバリエーションがなく魅力値が全体的に低い（来場促進に至らない）河川関連に囚われない自由度の高い展示計画が必要。また 制約されない展示コンテンツの誘致作業（プロデュース）が急務。

■ コアとなる情報発信の開発

- ▶ 「にぎわい Xing」の表玄関である展示室（情報発信）の年間スケジュール・コンセプトに統一感がないため「にぎわい Xing」自体のコンセプトが来場者に伝わりにくい。

■ **イベントミックスの必要性** 展示室（情報発信ゾーン）単体企画に終始している。にぎわい Xing との連携や、その他周辺イベントとのイベントミックスによる拡がり

- ▶ 感醸成が必要。

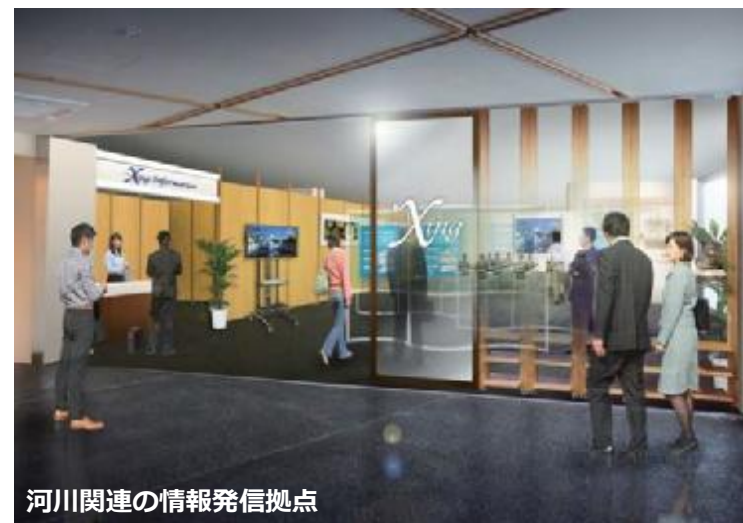
■ ゾーニングに囚われない情報発信

- ▶ [展示室 = 情報発信] ではなく [にぎわい Xing = 情報発信] である再認識が必要。集客交流機能（XingGarden）での情報発信拡充などが求められる。

▽ 展開エリア



▽ 提案時のイメージパース



展示室コンテンツ (2011年度)

7月8月 [天神祭パネル展]



9月 [大阪観光案内展]



10月 [大阪・秋の水都イベント案内展]



11月 [東京・横浜・大阪の橋
合同パネル展]



12月 [Make Showwindow]



1月 [海のシルクロード ビジットジ
ャパン三都物語展]



2月 [大橋房太郎と淀川 100年展]



3月 [大大阪レトロナイト 建築写真展]



3月 [水辺の景観資源パネル展]



展示室コンテンツ (2012年度~2013年)

4月 [いにしへの八軒家浜界限]



5月 [大阪中之島ごはん映画祭]



5月 [中之島にぎわいの森プロジェクト]



7月 [BY展]



7月 [天神祭短歌大賞 / パネル展]



8月 [ゲリラ豪雨展]



9月 [連続テレビ小説 純と愛
大阪ロケパネル展]



10月 [淀川資料展]



11月 [黄金を抱いて翔べ]



12月 [東日本大震災、津波 その傷跡展]



1月 [紀伊半島大水害 復旧への挑戦]



2月 [魚道展]



NPO法人水上安全協会
安全講習会 (03.11.)



北区橋講座 (03.10.)



リバースクエア (03.12.)



水辺・季節の賑い _ [提案時の展開イメージ] と [実績] の比較

■ 提案コンセプト

八軒家浜を中心に水都大阪で活躍する諸団体と連携し
多種多様な水辺の賑わいプログラムを展開

■ 展開実績 (抜粋)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 打ち水大作戦 | <input type="checkbox"/> 平成 OSAKA 天の川伝説 |
| <input type="checkbox"/> 天神祭船渡御プロジェクト | <input type="checkbox"/> 水都大阪フェス |
| <input type="checkbox"/> アイルランドフェスティバル | <input type="checkbox"/> 春の舟運まつり |
| <input type="checkbox"/> プリモプリモピアット | <input type="checkbox"/> 水都大阪 光のリバースクエア |
| <input type="checkbox"/> 水上パレード | <input type="checkbox"/> 便りは風に乗って |
- ...etc

■ 課題

■ 舟運事業の活性化

「街と川が出合う」川辺の賑い」コンセプトイメージを具現化する、観光舟 運商材開発に
乏しい「にぎわい Xing」だから発信できる「舟運商材」開発 が必要。

■ 各種許可申請の見える化 (煩雑な作業からシンプルシングへ) 賑わい形

成の舞台となる「八軒家浜」で催事を展開する際、各種申請の窓口 が一般には不明
瞭。行政が関係しない個人・団体主体事業は、その事業が「八
軒家浜の賑わい形成に寄与しうる」と判断した場合「にぎわい Xing」の積 極的な各種
許可申請の助言、時には申請代行が必要。

■ 周辺地域・行政との共働展開

「にぎわい Xing」単体で「地域の賑い形成に寄与する」事業展開を行う場合、開催概要・
開催エリアによって、大阪府・大阪市、両行政への申請が必要かつ、賑わい形成のため
の事業であっても、一部もしくは全部の占用料が発生する 事例がある。これを解決す
るために「にぎわい Xing」単体ではなく自治体 や管轄行政(中央区役所)との共同展
開による賑わい活性化事業を定期的に 開催したい。

▽ 展開実績 (抜粋)



連携運営・周辺地域との連携 _ [提案時の展開イメージ] と [実績] の比較

■ 提案コンセプト

- **NPO 法人大阪水上安全協会を主体にした「連携運営」による事業展開**
- **八軒家浜に集う複数団体の強みをクロスした新たな枠組み編成**
→ 様々なニーズに対応できる多様性確保
→ 経済合理性にかなった運営実現

水上安全協会主催による定期的な清掃活動



- 参加事業
- ・大阪府
 - ・(株)はちけんや
 - ・尼崎信用金庫
 - ・北浜東振興町会
 - ・にぎわい Xing 等

■ 実績

「水辺の安心・安全機能」としての **NPO 法人大阪水上安全協会** が日常的に機能することにより「川の駅」施設本来の目的を遂行すると同時に、**Xing Garden**・ウォーキングステーション・八軒家浜市場などの「集客交流機能」を持つことで多様性に富む意義ある全日（365日）稼働を可能としている。集客交流の実績としては、次章「量的測定」を参照することで「にぎわい Xing」展開後の動員数増加は明白である。また事業の経済合理性も「量的測定」を参照のうえ、確かな実績を収めている。

■ 課題

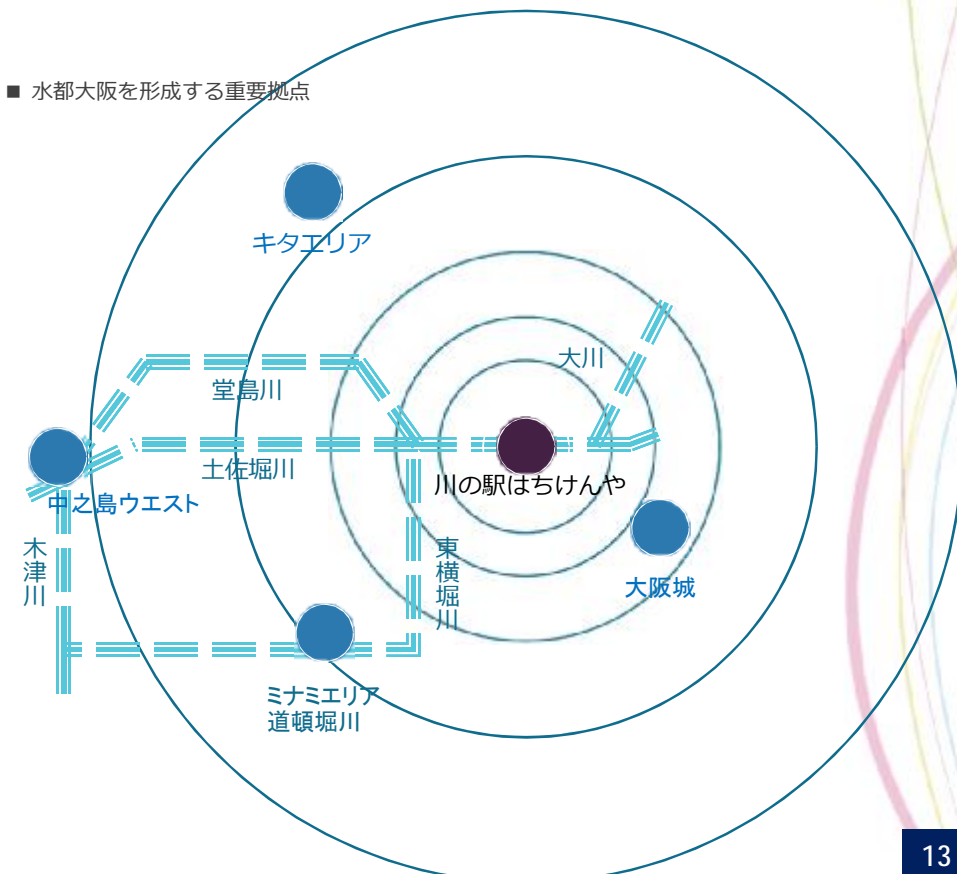
■ 周辺地域・企業との連携強化による、さらなる多様性

- ▶ 「川の駅 はちけんや」の話題性・多様性・集客能力を高めるためには「にぎわい Xing」運営事業団体以外の枠組みで、運営を行うのではなく定期的・積極的な周辺地域の理解・参画・協働があって、ネクストステージへと進める。

■ 「八軒家浜」を取り巻く地理的環境の把握と進化

- ▶ 官民協働で推し進めている「水都大阪」のコアエリアのひとつとして「川の駅 はちけんや」を昇華させるために、横軸（中之島西部～大阪城）と縦軸（梅田～難波）との連携強化が求められている。

■ 水都大阪を形成する重要拠点



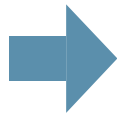
バックヤード間仕切の設置

- にぎわい Xing のバックヤードに資材が増えてきたことから、バックヤードを間仕切り【資材置き場】と【多目的スペース】、2つの使用ができるように間仕切設置を行った。

▽2011.07.24.~



△ 間仕切設置前（資材乱雑）



▽2012.03.21.~

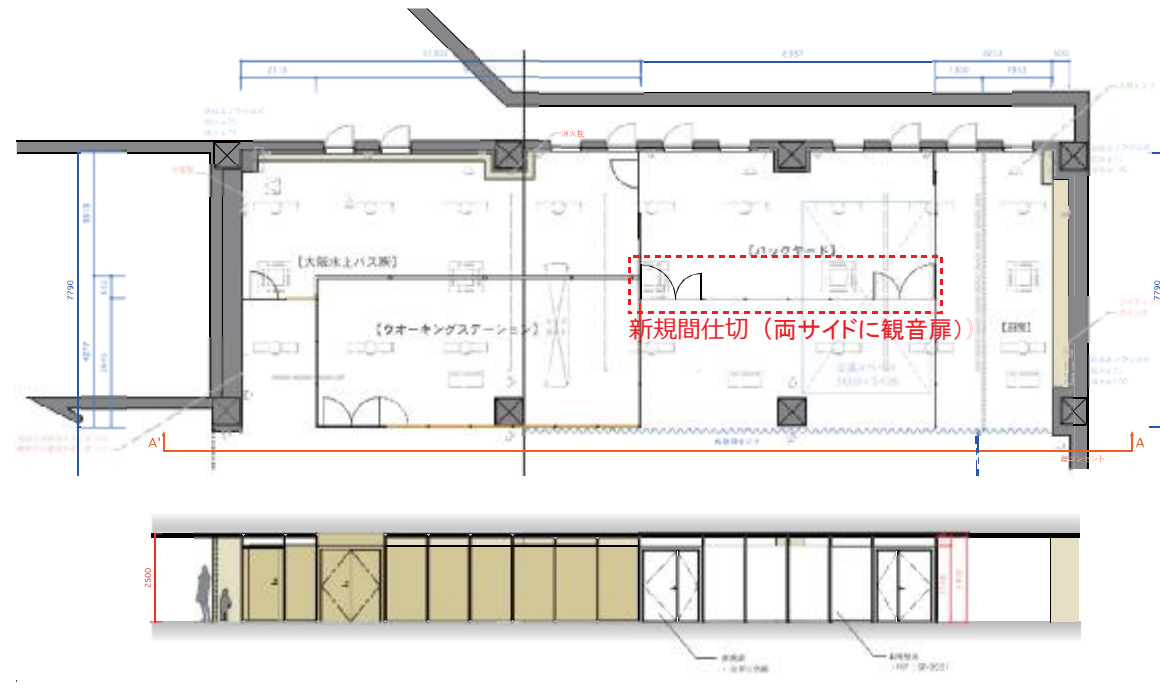


△ 間仕切設置後

- 資材置き場と混在しない多目的スペースを形成したことによって、各種イベント時の控室・主催者本部使用や、各会議での使用など、用途に幅ができた。



△ 水都大阪冬事業 2012 での主催者本部使用



提案時の [来場者想定数] と、 [展開後の実数] を比較検証（コンテンツ別 / 実数は **2012** 年度を比較対象とする）

項目	提案時想定数	展開後実数2012年	展開後実数2013年
Xing Garden	35,840 人	38,015 人	32,430 人
八軒家浜市	12,000 人	18,339 人	19,880 人
ウォーキングステーション	45,000 人	10,999 人	6,475 人
展示室	200,000 人	63,574 人	106,890 人



「**Xing Garden**」は想定数とほぼ同数。
「**365** 日全日稼働による日常的な集客・賑わい創出」は運営できている。

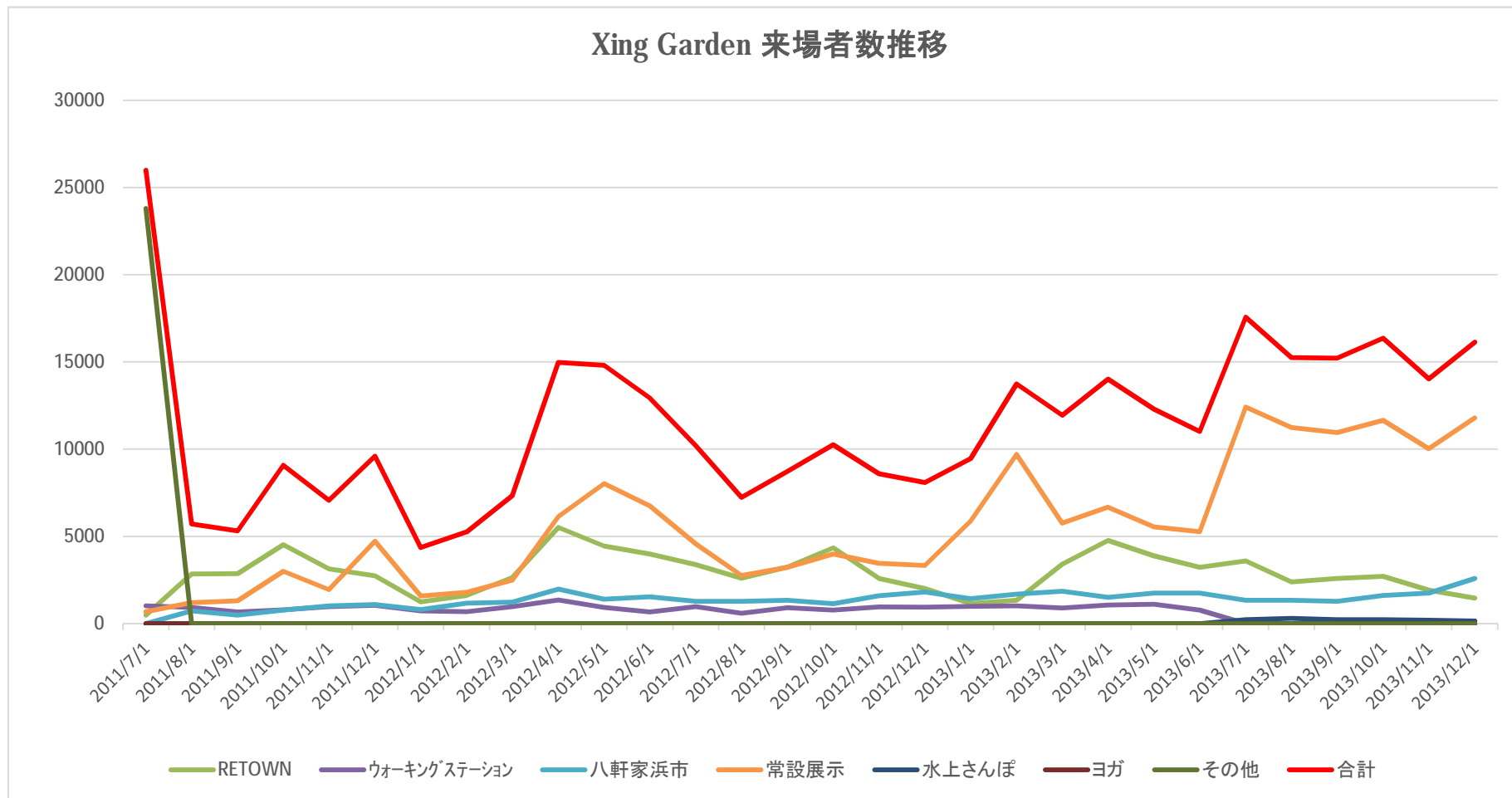
「八軒家浜市」は想定数を大きくクリア。
「水辺の開かれた交流・にぎわい創出」は成功している。

「ウォーキングステーション」は想定数を下回る。分母の底上げが必要。ファン獲得施策必要。

「展示室」は想定数を下回る。魅力的なソフトが開発されていない、またソフトを周知する広報計画が**充分でない**。

開業後の [来場者数] 推移

2011年7月24日開業から2013年12月31日までの21か月間、[Xing Garden][ウォーキングステーション [八軒家浜市][展示室]の[来場者数]総数をグラフ化。* その他テンポラリーな来場者数は未計上



2011年7月来場者数は、「平成OSAKA天の川伝説」「内覧会」「天神祭」など催事による賑わいXingへの来場者数を計上
ウォーキングステーションは、2013年9月～8月休業のため未集計。同年10月よりノルディックウォーキング連盟入居、未集計。

2011/7~12 年合計62,766

2012/1~12 合計112,760

2013/1~12 合計166,983

【参考】八軒家浜 雁木前門扉の使用について（基本ルール）

2011年7月、「川の駅 はちけんや」に「にぎわい Xing」が開業して以来、八軒家浜の認知度は高まりつつある。さらに「川の駅 はちけんや」を中心とした川辺・川面への期待感を高めるため、八軒家浜雁木に「門扉」を設置し陸と川面の精神的距離感をなくすことで、「水辺の開かれた交流拠点」「川を活用した水辺の活性化施策」を恒常的に展開する。

01. 門扉管理

八軒家浜雁木前の門扉設置は、NPO 法人大阪水上安全協会が占有主体者であり、門扉の維持管理は原則、NPO法人大阪水上安全協会が行う。

02. 門扉運営

八軒家浜雁木前の門扉運営は、にぎわい Xing 管理運営事務局（大阪水上バス・ランドマーク・ジャパン）及びにぎわい Xing 運営連絡会メンバーである、水上さんぼ実行委員会で行う。特に門扉周辺（雁木）の日常的な清掃美化は水上さんぼ実行委員会が行う。

03. 門扉鍵の管理

門扉の鍵は、①大阪府西大阪治水事務所・②NPO 法人大阪水上安全協会・③にぎわい Xing 管理運営事務局・④にぎわい Xing 運営連絡会（水上さんぼ実行委員会）の4者がそれぞれ1本ずつ所有する。

04. 門扉使用

「水辺の開かれた交流拠点」川を活用した水辺の活性化施策」を目的とした門扉の使用を大原則とする。

[レギュラー使用]

非動力船のみの使用を可とする。利用に関してはライフジャケット着用を徹底する。

日常的な使用は、にぎわい Xing 運営連絡会メンバーである、水上さんぼ実行委員会主催「水上さんぼ」を主動とする。その他の非動力船は、事前に NPO 法人大阪水上安全協会及びにぎわい Xing 運営連絡会と協議を行い、「開催趣旨」「開催期間・時間」「開催航路」が適切であると判断した場合のみ、門扉の使用を許可する。

[単発使用] 動力船やイベントなどの単発での使用は、大阪府西大阪治水事務所と協議を行い、使用可否、条件等を決定する。

05. 転落防止柵

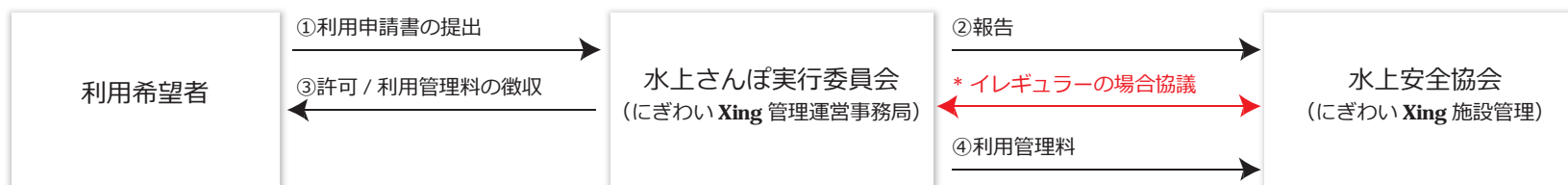
門扉使用期間、転落防止柵は「川の駅 はちけんや」にて保管する。

転落防止柵の使用時は、NPO 法人大阪水上安全協会・にぎわい Xing 運営連絡会にて門扉の撤去を行う。

【参考】八軒家浜 雁木前門扉の基本利用管理料

「恒常的な水辺の賑わい形成」のため「門扉」からの離岸着岸（非動力船のみ）活用を拡く推進する。
推進活動に当たり、利用者からは利用管理料を徴収する。

■ 利用管理料徴収フロー



■ 基本利用管理料

利用時間	06:30 ~ 10:00 18:30 ~ 22:00	* 左記以外の利用に関しては、協議の上利用可否決定 協議内容は主に [他船舶トラフィック][利用者の運航ルート] 等
管理料	一隻 500 円 (税込) / 回	

* 門扉の主たる現場運営責任者 / 門扉管理者（水上さんぽ実行委員会）は利用料免除とする

<特記事項>

01. 使用当日は、水上通行船舶関係者とのトラブル、事故等が生じないよう万全を期します。
02. 雁木及び門扉は善良な管理者の注意をもって使用します。
03. 乗降時以外は、門扉の施錠を行い、第三者が河川側に立ち入らないようにします。
04. 雁木及び門扉に損傷を与えた場合は、ただちに管理者へ報告のうえ指示に従い、復旧します。
05. 雁木及び門扉使用後は付近の清掃を行い、現状に復します。
06. 雁木及び門扉使用中の事故やその他の理由により第三者に損害を及ぼした時は、使用者の責任において全て処理します。
07. 災害時は、災害対策関係者が雁木及び門扉を優先使用することについて異議ありません。
08. 雁木及び門扉使用に係るトラブルがあった場合は、使用者において解決します。
09. その他、次の行為の禁止を遵守します。なお、違反した場合は、使用を制限されても異議ありません。
 - ・ 周辺の住民の迷惑となるような行為
 - ・ 雁木及び門扉を損傷する行為
 - ・ 雁木及び門扉における火気の使用
 - ・ 雁木及び門扉周辺に油、ごみ、空き缶その他汚物を投棄し、又は放置する行為
 - ・ 雁木及び門扉周辺における集客行為
 - ・ 雁木及び門扉での物品の販売、募金等
 - ・ その他、河川管理上支障きたすおそれのあること